

(様式3)

平成30年度中間評価

学校名 湯梨浜町立泊小学校

校長名 山本 洋介 印

1. 学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成

- 学習のきまりを共通理解し、学習規律の確立に取り組む。
- 単元づくりや学習過程を創意工夫し、授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
- ペア学習やグループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫する。
- 校内授業研究会を充実し、授業力の向上を図る。
- 少人数指導を生かし、個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。
- 外国語活動・外国語を推進し、外国語への興味・関心を高める指導に取り組む。
- 家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣化を図る。
- 図書館の活用を推進するとともに、読書の習慣化を図る。

(2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成

- 基本的な生活習慣の大切さについて教育活動全般を通して適宜指導する。
- 道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、思いやり豊かな心を育成する。
- より良い言葉使いのあり方については重点的に指導する。
- 潮風タイム（業間運動）を活用し、目標を持ちながら体力の向上に取り組む。
- 食育を推進し、健康な体づくりに関心をもたせる。

(3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

- 総合的な学習の時間を活用し、体験的な学習活動を積極的に取り入れる。
- 地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進する。
- 学校だより、学級だよりを創意工夫し、積極的に情報を発信する。
- ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

(様式3)

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	中間評価	課題
(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成	B	・国語科の指導力を高めるために、他校の研究会に参加し、学校全体で共有していきたい。 ・各学級での授業において、情報機器を活用する頻度が増しているので、パソコン・プロジェクター・スクリーンの配置をお願いしたい。 ・授業研究会を進める中で出てきたノートづくり、音読の仕方について検討し、取り組みを進めていきたい。 ・児童がより授業に集中するための授業改善を図るとともに、個に応じた支援について学年部研等で検討を続けたい。 ・外国語活動・外国語の授業の中で、自らコミュニケーションを取っていく場面が十分でないので、授業の延長で、休憩時間等に教職員と関わっていくことも考えたい。 ・教室に学習に関する本を置いておくなどして、読書習慣のついていない児童への働きかけを行いたい。
(2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成	B	・あったか言葉を使う取り組みが浸透してきて人間関係が良好になってきているが、場に応じた言葉遣いの不十分な児童への指導も継続させていきたい。また、「さん」で相手を呼ぶことへの働きかけも継続していきたい。 ・教職員がいない場面でのあいさつ、言葉遣い・マナーの指導を充実させたい。 ・1学期にPTA講演会も行ってきたところであるが、メディアとの関係も含め、就寝時刻を全校で守れるよう、さらなる家庭への啓発を図りたい。
(3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり	B	・体験的な活動を多く取り入れることができているが、活動だけで終わらないように振り返りやまとめをしっかり行い、自分の学びを実感させたい。また、総合的な学習の時間をより充実させるために、年間指導計画の追記を行ってきたい。

(様式3)

--	--	--

◎3の「中間評価」の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である